

第264回「光学」編集委員会

2012年11月9日(金)に応用物理学会会議室において開催されました。最初に、第42巻第9, 10号の企画決定、第42巻第11号の第二次構想案、第42巻第12号、第43巻第1, 4号の第一次構想案の審議、第43巻第2, 3号の号担当の決定が行われました。次に、Web公開およびトップページの構成について議論され、会員・非会員への公開範囲等が決定されました。また、新企画についてコンセプトや内容が具体的に議論され、引き続き検討を進めることとなりました。最後に、書評、論文投稿・審査状況、各号の進捗状況、会計関係等の報告がなされました。

第38回光学シンポジウム講演募集「光学システム・光学素子の設計、製作、評価を中心として」

期 日：2013年6月27日(木)、28日(金)

場 所：東京大学生産技術研究所 An 棟コンベンションホール(東京都目黒区駒場4-6-1)

主 催：日本光学会

応募講演の性格・内容：a) 原則として未発表のものとなります。ただし、既発表のものの一部重複があっても、光学に関わる新規な内容が含まれていれば発表可能です。b) 内容は、光学システムおよび光学素子の設計、製作、評価に関連した講演を中心として、日本光学会の活動の全分野を対象とします。特に、これに関連した実際的な問題に踏み込んだ講演を歓迎し、また問題提起の講演も認めます。

講演方法・時間：基本的に口頭講演とします。プログラム編成の都合により、あらかじめ連絡の上、ポスターセッションへ変更をお願いする場合があります。口頭講演の発表は20分(質疑応答5分を含む)、PCプロジェクターのみ使用。

応募資格：日本光学会(入会予定も含む)、応用物理学会、SPIE、OSA、OSKおよび協賛の学協会会員。

応募方法：以下の内容を電子メールにてお送りください。題目、氏名(登壇者には○を付ける)、所属機関名、英文題目、英文氏名、所属機関英文名、アブストラクト(200字以内)、連絡先(郵便番号、住所、氏名、E-mail、電話、Fax)。申込受付確認のメールを1週間以内に返送します。期限を過ぎてもメールの届かない場合はご連絡ください。

応募締切：2013年3月7日(木) 必着

予稿提出：採用した講演については、所定フォーマットのPDF形式の電子ファイルを提出していただきます。詳細は、後日案内予定の予稿原稿の書き方、ホームページをご参照ください。

予稿締切：2013年4月22日(月) 必着

応募先：光学シンポジウム実行委員会講演担当 E-mail: optsympo38@gmail.com

問合せ先：オリンパス(株) 光学技術部 福島郁俊

電話 042-691-7239 E-mail: optsympo38@gmail.com

URL: <http://annex.jsap.or.jp/OSJ/meet/symposium/index.shtml>

光設計研究グループ第51回研究会「デジタルカメラを支える最新技術」Technology Front of Optical Design and Imaging for DSC / Pre-ODF '14, Itabashi Tokyo

カメラと写真の総合展示会 CP+2013 の開催期間中に研究会を開催することで、日本の誇る CP+ を盛り上げ、カメラおよび写真業界全体を活性化したいとの狙いから、「デジタルカメラを支える最新技術」というテーマで研究会を企画しました。また、今回の研究会は2014年2月に板橋区で開催が予定されている国際会議(ODF '14, Itabashi Tokyo)の前座を兼ねており、国内外の先生方よりそれぞれの分野における最新技術のお話をいただくことで、幅広い目ももち新たな気付きに繋がればと考えます。多くの方々のご参加をお待ちしています。

日 時：2013年1月31日(木) 10:30~17:10

場 所：板橋区立文化会館4階大会議室

主 催：日本光学会光設計研究グループ(ODG)

共 催：東京都板橋区

協 賛：一般社団法人カメラ映像機器工業会(CIPA, CP+ 2013 主催団体)

プログラム：(1) “Freeform surfaces for imaging systems: Why and how to use in optical design?”, W. Ulrich (Zeiss, Germany), (2) “Hybrid miniature objectives using free-form and binary surfaces for digital applications”, I. Livshits (NRUITMO, Russia), (3) 「レンズ設計における、大域的最適化の効果的な使用法」岩井広成(サイバネットシステム), (4) 「広ダイナミックレンジイメージセンサの技術動向」須川成利(東北大), (5) 「画素サイズの微細化に適した有機光電変換膜積層型CMOSイメージセンサ」後藤崇(富士ファイル

ム), (6) “Machine Vision, Now and Future” (仮題),
A. Guagliumi (Datalogic, Italy), (7) 「デジタル画像
の画質評価—現状と課題—」三宅洋一 (千葉大)

参加費: 光設計研究グループ個人会員4,000円, 光設計研
究グループ学生会員 無料, 一般 10,000 円, 板橋区
民・企業 7,000 円, IPA 会員企業 7,000 円, 学生一般
2,000 円. 当日, 受付でお支払いください. 懇親会参
加費は無料です.

定 員: 研究会 150 名, 懇親会 60 名. 定員になり次第締
め切ります. 定員オーバー後の申し込みはその旨ご連絡
します.

参加申込: 日本電気(株) グリーンプラットフォーム研究
所 今井 浩

電話 044-435-1214 Fax 044-435-1096

E-mail: k51reg@opticsdesign.gr.jp

問合せ: 富士フイルム(株) R&D 統括本部光学デバイス
開発センター 岸根慶延

電話 048-662-7173 Fax 048-662-7198

E-mail: k51@opticsdesign.gr.jp

URL: <http://www.opticsdesign.gr.jp/>

「光学系基礎理論」技術講座

期 日: 2013 年 1 月 16 日～2 月 6 日 (毎週水曜日)

場 所: 機械振興会館別館 4 階 (東京都港区芝公園 3-5-
22)

主 催: 一般社団法人日本オプトメカトロニクス協会

協 賛: 日本光学会, ほか

参加費: 協賛 103,950 円. テキスト・消費税含む.

定 員: 24 名

申込締切: 2013 年 1 月 9 日(水)

問合せ: 一般社団法人日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail: info@joem.or.jp URL: <http://www.joem.or.jp>

新入会員

個人会員

会員番号	氏 名	所 属
A 学 6104001	平野 忠幸	京都工芸繊維大学
6104003	宮内 真二	(株)島津製作所
6104002	横地 界斗	(株)東芝

ご 逝 去

ご逝去の訃音に接し, ここに謹んで哀悼の意を表します.

会員番号	会員名	所属 (旧所属を含む)	役員履歴	ご逝去年月日
0002750	中島 亨	ペンタックス(株)	日本光学会常任幹事, 光学編集委員	2012/6/6

日本光学会 news の掲載申込先:

〒112-8681 東京都文京区目白台 2-8-1 日本女子大学理学部数物科学科 小川賀代

電話 / Fax 03-5981-3633 E-mail: ogawa@optnet.jwu.ac.jp

なお, 掲載申込は原則として発行日 (10 日) から 2 か月前の 15 日まで, 開催日が 1~10 日の場合
は, 開催日の 3 か月前の 15 日までをお願いします.

掲載にあたっては, 「日本光学会 news」および「光学関連会合予定」の掲載基準 (<http://annex.jsap.or.jp/OSJ/kogaku/news-keisai.html>) をご確認ください.